

[ 成果情報名 ] 長崎県における農作業組織の実態と活動上の問題点

[ 要約 ] 長崎県の農作業組織は、103組織、構成員1,237人である。うち、農作業受託組織は50組織で、壱岐の21組織、諫早・大村の12組織が多い。受託面積は水稲収穫793haと水稲田植え776haが特に大きく、麦収穫442ha、水稲耕耘321haの順に大きい。組織活動上で困っている事項は、「機械更新の資金不足」、「修繕費が計画よりかかる」、「受託面積が計画より少ない」などである。

[ キーワード ] 農作業組織、農作業受託、水稲

[ 担当 ] 総合農林試験場・企画経営部・経営科

[ 連絡先 ] 電話0957-26-3330、電子メールtomo.iwa@pref.nagasaki.lg.jp

[ 区分 ] 営農・農産

[ 分類 ] 指導

---

[ 背景・ねらい ]

担い手農家の減少と高齢化により地域農業の維持が困難な状況になるなかで、農作業受託組織が重要な役割を担っている。本研究では、水稲作を中心とした農作業組織の組織の概要、活動の実績、活動上の課題等についてアンケート調査を実施する。分析は作業面積に占める構成員の経営面積の割合と、作業面積規模により区分して行う(表1の注)。

調査時期：平成14年8月、回答組織：103組織、有効回答：87組織(85%)

[ 成果の内容・特徴 ]

1. 回答のあった機械共同利用組織と受託作業組織の合計は103組織、構成員数は1,237人である。受託作目別の組織数は、水稲73、飼料作29、麦20、大豆18の順に多い。壱岐地域が55組織で最も多く、また他地域に比べ飼料関係が多い(表1)。
2. 本調査では構成員の経営面積以上の農作業を請負う受託組織は組織A、B、Cであり、合計50組織となる。地域別では壱岐21組織、諫早・大村12組織が多い(表1)。
3. 作業別受託面積は、水稲収穫793haと水稲田植え783haが特に大きく、麦収穫442ha、水稲耕耘321haが次に大きい(表2)。
4. 各作業の作業面積規模別の受託面積をみると、全作目別作業で20ha規模以上の組織が全体の過半を占めている(表2)。
5. 作業別の受託料金については、水稲、麦は20ha以上規模が最も安く、10~20ha規模が5~10ha規模、5ha以下規模より高い傾向がある。大豆と飼料は5~10ha規模が他の規模より安い(表3)。
6. 組織活動上で困っている事項は、18項目すべてに回答があり、課題の幅広さが認められる。全体では、「機械更新の資金不足」、「修繕費が計画よりかかる」、「受託面積が計画より少ない」、「機械の減価償却費の積立ができない」、「機械のオペレータが不足」、「オペレータの事故補償がないので心配」の順でポイントが高く、この6項目で回答の60%を越える。組織の区分別では、組織Aでは「受託料金の集金が面倒」、組織Bでは「受託面積が計画より少ない」、組織Cでは「機械更新の資金不足」、組織Dでは「オペレータの事故保障がないので心配」が、比較的ポイントが高い(表4)。

[ 成果の活用面・留意点 ]

1. 農作業組織育成の参考資料に活用できる。

[ 具体的データ ]

表1 回答組織の概要 (人)

地域	構成員等		受託作目				区 分				
	組織数	構成員数	水稻	麦	大豆	飼料	A	B	C	D	E
長崎・西彼	4	44	4	0	0	0	1	1	2	0	0
諫早・大村	19	254	17	8	5	1	1	2	9	3	4
島原・加津佐	4	68	3	0	0	0	1	0	0	0	3
佐世保・江迎・平戸	9	111	7	0	0	3	2	1	0	0	6
五 島	10	79	9	3	4	1	4	1	3	2	0
吉 岐	55	578	31	8	9	23	7	3	11	10	24
対 馬	2	118	2	1	0	1	0	0	1	1	0
合 計	103	1,252	73	20	18	29	16	8	26	16	37

注1) 受託作業作目は複数回答  
 2) 組織の区分  
 A: 作業面積が構成員分の3倍以上  
 B: 同上面積が2~3倍  
 C: 同上面積が1~2倍  
 D: 同上面積が構成員のみ  
 E: 作業面積割合が不明

表2 作業面積規模別の組織数等 (平成13年度, ha, a)

区 分		20ha以上			10~20ha			5~10ha			5ha以下			全 体		
		組織数	受託面積	1組織当たり面積	組織数	受託面積	1組織当たり面積	組織数	受託面積	1組織当たり面積	組織数	受託面積	1組織当たり面積	組織数	受託面積	1組織当たり面積
水稻	耕 耘	3	153	5,089	10	133	1,333	11	76	691	17	36	210	40	321	657
	田植え	10	474	4,743	11	143	1,301	15	110	734	20	49	244	56	783	1,024
	収 穫	6	449	7,487	15	201	1,345	16	113	709	15	29	191	53	793	1,252
麦	耕 耘	2	86	3,805	1	11	1,100	3	21	688	5	7	147	11	126	1,092
	播 種	1	40	4,000	4	58	1,439	1	6	600	5	5	107	11	105	864
	収 穫	2	345	17,250	5	71	1,417	2	14	679	9	13	149	18	442	2,388
大豆	耕 耘	0			1	11	1,093	4	28	689	5	6	129	11	50	409
	播 種	1	124	12,440	2	49	2,427	3	21	685	4	6	146	10	199	414
	収 穫	2	131	6,541	4	56	1,407	2	16	783	6	9	156	11	194	483
飼料	耕 耘	0			3	46	1,532	8	55	689	11	18	161	17	94	392
	播 種	1	40	4,000	2	34	1,696	8	56	697	8	16	196	18	139	573
	収 穫	1	91	9,100	2	20	1,015	3	23	760	7	17	240	13	151	389

表3 作業面積規模別の受託料金等 (円/10a)

区 分		20ha以上		10~20ha		5~10ha		5ha以下		全 体	
		組織数	平均受託料金	組織数	平均受託料金	組織数	平均受託料金	組織数	平均受託料金	組織数	平均受託料金
水稻	耕 耘	1	4,000	8	6,100	8	4,450	10	4,600	40	5,046
	田植え	10	5,085	10	7,285	13	5,296	16	5,031	54	5,056
	収 穫	7	10,926	13	12,492	12	12,333	12	14,500	50	11,998
麦	耕 耘	2	3,675	1	5,000	2	4,500	1	4,000	11	3,859
	播 種	1	4,000	4	6,269	0		1	3,000	6	4,138
	収 穫	2	6,500	5	6,760	1	3,200	5	8,200	15	7,133
大豆	耕 耘	0		1	5,000	3	4,667	1	5,000	6	4,650
	播 種	1	3,500	2	4,500	1	2,500	1	3,000	6	3,833
	収 穫	2	5,250	4	8,000	1	10,000	3	4,333	9	6,389
飼料	耕 耘	0		2	4,000	5	4,000	5	4,980	11	4,445
	播 種	0		1	1,500	4	1,375	1	5,000	7	2,000
	収 穫	1	4,000	0		1	2,000	1	2,000	4	2,125

表4 組織活動上で特に困っている事項 (全体に占める割合, %)

項 目	A	B	C	D	E	全 体
機械更新の資金不足	11.1	7.9	16.7	13.4	17.0	14.2
修繕費が計画よりかかる	12.3	10.1	10.6	9.6	8.5	10.3
受託面積が計画より少ない	7.6	24.7	9.1	3.8	12.2	10.1
機械の減価償却費の積立ができない	11.1	9.0	11.4	10.2	6.4	9.8
機械のオペレータが不足	10.5	11.2	9.1	2.5	10.1	8.6
オペレータの事故補償が無いので心配	5.3	3.4	9.5	7.6	10.6	7.9
受託料金の集金が面倒	7.6	6.7	3.8	7.0	4.8	5.6
受託料金が安い	5.8	11.2	7.6	3.2	0.0	5.2
作業計画の調整に苦慮	4.7	5.6	3.4	5.1	6.9	5.0
作業受託が個人請負になっている	2.9	0.0	3.4	5.7	9.0	4.6
受託面積をまかなう農業機械が不足	4.1	2.2	4.2	8.3	2.7	4.4
地域内で他の受託組織と活動が競合	2.3	6.7	2.7	3.8	0.0	2.6
地域内の土地利用調整が進まない	2.3	1.1	2.7	4.5	1.6	2.5
補助事業が先行し組織活動の意識が低い	2.3	0.0	0.0	5.1	4.8	2.4
未収金が多い	2.3	0.0	3.0	1.9	2.7	2.3
委託作業申し込みの受付が煩雑である	2.9	0.0	1.9	5.7	0.0	2.2
オペレーターの賃金が安い	2.9	0.0	0.8	0.0	2.7	1.4
総会等の組織活動が低調である	1.8	0.0	0.0	2.5	0.0	0.8

注1) 組織の区分は表1の注のとおり  
 2) 困っている事項は困っている順番で加重集計した  
 3) 網掛けは10%以上

[ その他 ]

研究課題名: 担い手組織の運営管理支援技術の開発

予算区分: 県単

研究期間: 平成14年度(平成13~15年度)

研究担当者: 岩坪友三郎、鳥羽由紀子

発表論文等: なし